



今村さん、100mH「日本中学新記録」おめでとう！

8月20日(水)沖縄県で第52回全日本中学校陸上競技大会が開催されました。そこで、本校の3年生 今村 好花さんが、共通女子100mH(ハードル)で13秒23の「日本中学新記録」と「大会新記録」で、見事、第1位となり、大会 MVP 賞にも選ばれました。保護者の皆様、地域の皆様、たくさんのご声援ありがとうございました。

「自分らしさ」って案外難しいもの

中学生くらいになると、「自分のこんなところが嫌い」「理想の自分になりたい」などと自分を客観視するもう一人の自分が生まれてきます。そして、「自分」をだんだん強く意識し、「自分らしさ」を追い求め始めます。それは、自分と社会をつなげようと成長している証拠でもあるのですが、「自分らしさが分からない」と嘆く人も少なくありません。

文部科学省作成のキャリア形成支援教材「高校生のライフプランニング」の中の1章2節「自分を知る」には、次のように記されています。



現在も将来も、自分らしく生きたいと誰しもが願う。一人一人の顔立ちや体格が異なるように、自分らしい生き方もそれぞれ異なる。「あなたはどのような人間ですか？」この質問に対して、あなたはどうか答えるだろうか。

自分がどのような人間なのかを考えると、私たちは自分自身を客観的に見つめる必要がある。しかし、自分で自分を理解することは案外難しい。(一部抜粋)

私は中・高校生の頃、学校での進路学習をきっかけに、自分の良さや得意なこと、好きなことなどを探そうとした時期があります。しかし、本気で探せば探すほどそんなに大したものではなく、だんだん自信をなくしてしまった経験があります。

それでは、「自分らしさ」はいったいどこにあるのでしょうか。

「自分らしさ」ってどうしたらわかるの？

これまでの自分の人生を振り返ってみると、実は、「自分らしさ」とは、どこかに「ある」ものではなく、人・もの・出来事との関わりの中で「表れてくる」ものでした。

例えば何か、過去の活動や出来事を思い出してみるとよいでしょう。そのとき、自分はどう感じ、どう行動したでしょうか。その感じたことや行動したことの中に、あなたの「自分らしさ」が表れているはずなのです。

ただし、「自分らしさ」は変わり続けます。人の行動や感受性は成長していくため、関わることで表れてくる「自分らしさ」も変化(成長)します。仮に、現在の「自分らしさ」を知ることができたとしても、それが全てではありません。未来の「自分らしさ」は現在とは異なります。その人の成長に応じて、出会う人・もの・出来事が違って来るからです。

つまり、「自分らしさ」は結果として表れてくるものです。生徒のみなさんには、今後どんな「自分らしさ」を知ることができるのか、楽しみにしてほしいと思います。

そして、一人一人が自分の長所や自慢できること、短所や不十分なところも含めて、自分の価値や存在を前向きに受けとめてほしいと思います。このように、自分を肯定し大切に思うことで、積極的に「自分らしさ」をつくり上げ、さらには「自分らしい生き方」がだんだん見えてくるのではないかと思います。



PTA 資源回収のご協力ありがとうございました

8月23日(土)に、本校の地区委員さんを中心に、保護者や地域の方々のご協力のもと、PTA資源回収を実施していただきました。大変暑い中、誠にありがとうございました。たくさん生徒が、※「まほろば活動」として参加し、保護者の車に回収物を積んでいく作業等をしてくださいましたので、生徒の感想を一部紹介いたします。(※「まほろば活動」とは、地域からの要請を学校が家庭と子どもに周知し、子どもを積極的に地域行事等に参加させる活動のことです。)



- 【感想】・朝に参加するのは初めてだったけど、活気にあふれていて、いい手伝いができた。
- ・中学校では最後だったけど、資源回収などこれからも自分ができることをやりたい。
 - ・最後まで残ってくださった地域や保護者の方、車出しの方、先生方に感謝したい。
 - ・自分の住んでいる地域に貢献できた事に誇りを持たた。また機会があればやりたい。